

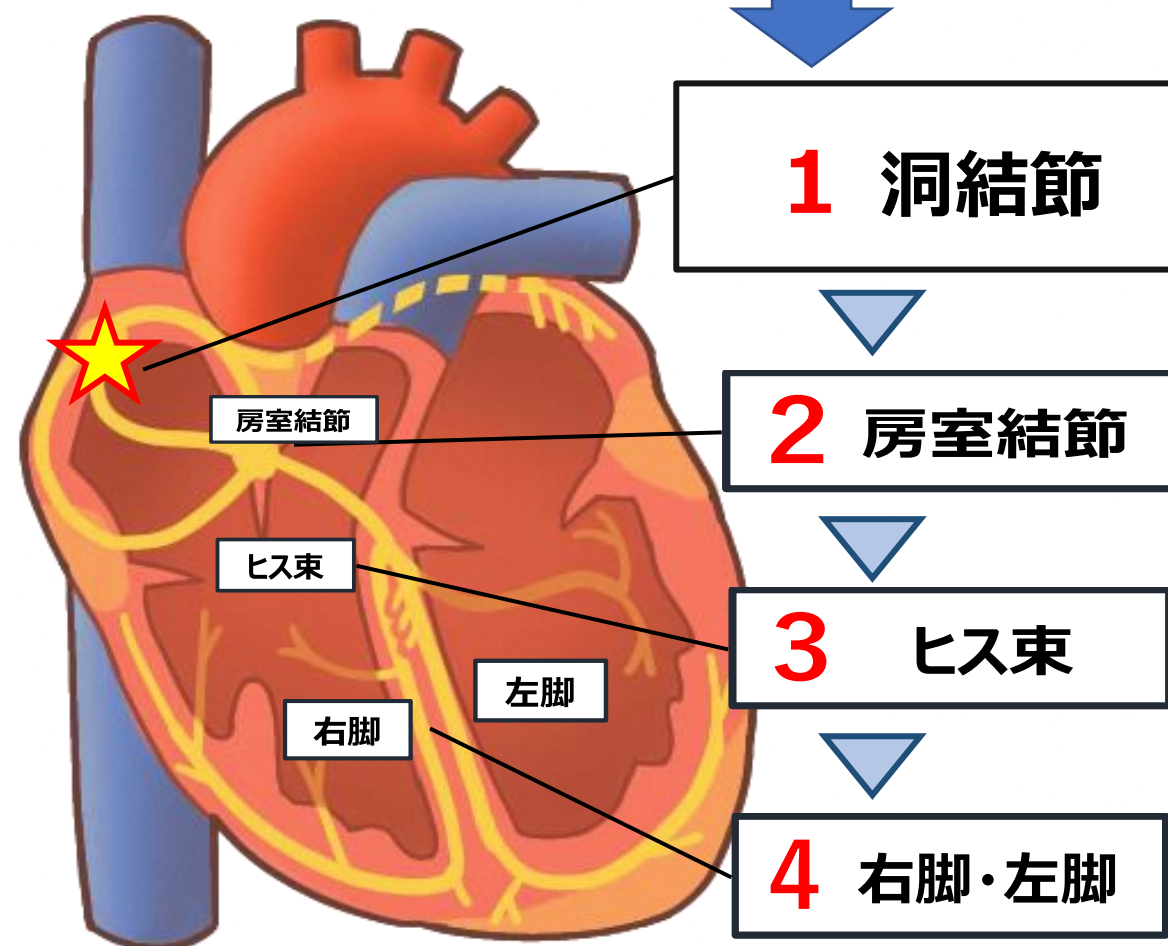
# 心電図検査は、最も簡単に心臓の様子を見ることができる検査です！

**1** 心電図は心臓の筋肉で発生した電気を記録したものです。電気は血液の中の電解質（ナトリウム、カリウム、カルシウム）でおきます。  
 1日10万回も動いている心臓のわずか6回分の動きから心臓の様子を見ているので、所見が出る時と出ない時があります。  
 過去に心電図を実施した人は、結果をみてみましょう。

**2** 【心電図でわかること その1】  
 脈の乱れはないかな？

脈を打つ時、心臓は電気を起こしているんです  
 電気が規則正しく流れることで心臓は動くことができます

電気信号は洞結節から始まる  
 （ペースメーカー）



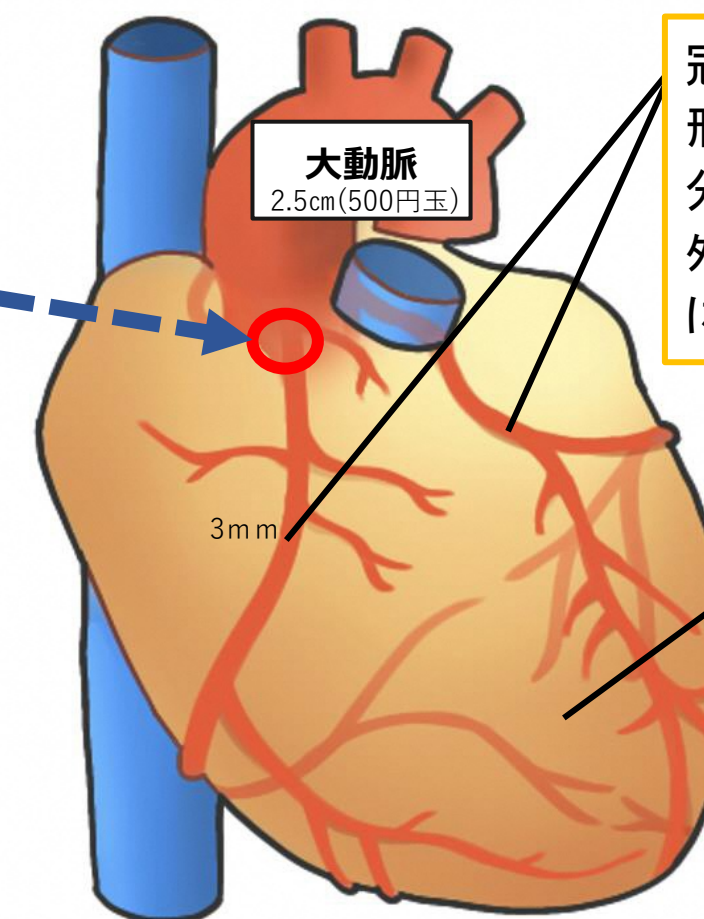
電気の伝わりに乱れが出ることを不整脈といいます

心電図検査でしかわからない

**3** 【心電図でわかること その2】  
 心臓の筋肉（心筋）の動きは大丈夫かな？

心臓が動くためには、  
 たくさんの血液（酸素・電解質）が必要なんです

心臓が動けるように  
 血液を届けているのは冠動脈です



冠動脈は“冠”を逆さにした形をしています。大動脈から分岐した太さ3mmの血管で、外から中へ心臓を包むように走っています。

心筋細胞（筋肉）が  
 ポンプのように動くことで、  
 血液を押し出すことができます。

心筋への血液が不足（虚血）すると心筋の動きが悪くなります

心電図検査だけでは推測しかできない  
 （他の検査と合わせてみていく必要がある）

